

〔かず〕

カレンダーで数字を読む

朝起きたらカレンダーで「今日は○月○日だね」と子どもに確認させる。また、「日曜日まであと3日」とか、「10日だったら幼稚園が始まるね」といった日常会話を通じ、体感を伴って数字に触れさせるようにしたい。



みんなで飛行……



お手伝いで数を体感

数の概念を体感するには「台所でお手伝いさせながら」が効果的。大皿に盛ったコロッケを「みんなに同じ数だけ分けてね」とか、「おやつのアメを1人に2個ずつ配って」など。まずやらせてみて、うまくできなかったら「こんなやり方したら?」とヒントを与えるといい。



〔文字〕

かるたでひらがなを覚える

文字に興味がある子には、かるたで遊びながらひらがなを覚える方法がお勧め。絵札を取れるようになったら、字札を読ませてもいい。決して無理強いしないこと。読むことに慣れてきたら、自分の名前を書くことを教えてもいいだろう。



ポイント



海に行ったり……



絵本の読み聞かせをする

読み聞かせは感受性を育てるだけでなく、文字に興味を持つきっかけをつくる。お気に入りの1冊を、何回も読み聞かせるうちに、子どもが文字を覚えてしまうこともある。登場人物が子どもや動物のものや、日常生活を描いた絵本だと子どもは共感しやすい。



読み聞かせやお手伝い、ラジオ体操から始めよう

「最近では、絵本の読み聞かせをした後にストーリーを聞いても、主人公に感情移入できない子、感想が全くない子が多いですね。心が育っていないことを痛感します」と、幼児教室を運営する矢崎絵美さんは指摘する。知識の習得は小学校に入ってからでも遅くはないが、豊かな心を育むことに關しては早くから取り組まないと手遅れになってしまう。

「日ごろ読み聞かせをしているといつも、時間がないからと急いで読んだり、落ち着かない雰囲気だったりとすると、子どもはそれを感じ取り、物語の世界にしっかり入り込めません」と矢崎さん。主人公に共感し、想像を膨らませることで子どもは感受性を養う。夏休みなら、読み聞か

エミ スタディ ルーム代表
矢崎絵美さん

慶応大学文学部卒。3人の息子の幼稚園・小学校受験を経験し、筑波大付属小、立教小に入る。2006年1月に東京都板橋区に幼児教室「エミ スタディ ルーム」を開設。受験体験を生かした、子どもと親の指導・カウンセリングには定評がある。
<http://www.e-esr.com/>

